



立山 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 後藤
2. 山行スタイル ハイキング
3. 目的 夏の立山を楽しむ
4. 山域／ルート 弥陀ヶ原、立山、雷鳥沢、剣沢、別山
5. 交通手段 自家用車、ケーブルカー、バス
6. 行動記録 <入山日 2025年7月19日。 下山日 2025年 7月21日>

第1日 9:30立山駅（ケーブルカー）→10:00美女平（バス）→10:40弥陀ヶ原→12:30天狗平→14:00室堂→14:20みくりが池→16:00室堂→16:30天狗平

第2日 5:30天狗平→6:00室堂→7:00雷鳥沢→8:00新室堂乗越→10:30別山乗越→11:00剣御前→12:30別山→14:00剣沢テント場

第3日 6:20剣沢テント場→7:10別山乗越→8:20雷鳥沢→9:00みくりが池→10:40室堂

7. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

- ① 雷鳥沢キャンプ場がまさかの定員オーバーで天狗平まで戻りビバークした。
- ② 計画では2日目は黒部ダムの予定だったが、足の状態を考え 下りを回避し雷鳥坂を登って剣沢に幕を張ることにした。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？ なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？ なし

8. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

① 弥陀ヶ原は一般道とは思えないくらい荒れていた。木道は全て腐っている。この時期はまだ雪渓がいたるところに残っているのでルーファイは必至。ラムサール条約で歩けないところがあるので事前に情報収集しておくこと。

② 剣沢に熊がでました。

③ 別山北峰から剣沢に下りられそうな踏み跡があるので行こうとしたが、ソロだし 止めておいた。あとで富山県警がマルチの練習をしているのを見た。行かなくて正解。

9. 感想

GWに痛めた足が完治せず 八ツ峰の錬成をあきらめた初夏。それでもやっぱり立山の空気を吸いたい！ 剣を一目見たい！ ということで「錬成八ツ峰幻の3班」としてソロで弥陀ヶ原を歩いてきました。いつかは行きたいと思っていた場所へ、またとないチャンスです。弥陀ヶ原は室堂の西側にある広大な湿地帯です。最初こそ快適な木道歩きでしたが、大日岳への分岐を越えたあたりから木道は腐り 藪漕ぎ、渡渉、そしてサルノコシカケのような雪渓が連続して出てきました...雪渓...踏み抜き...嫌な記憶が蘇ります。しかしさすが立山、ハイキングとはいえ飽きさせません。岩場を登りきったところからまた池塘が現れました。ここが天狗平、正面に立山三山がバーンと見えます、絶景。

室堂からみくりが池温泉へ、一風呂浴びて、ピザなんか食べちゃって ランドネ山行を満喫してたら出遅れました。雷鳥沢キャンプ場は定員オーバー（定員なんてあるんだ）。しかしそこは山屋、天狗平まで戻り小川のそばでビバークしました。

2日目、目覚めて最初に見た奥大日岳の彼方にある剣の頭に呼ばれている気がしました。予定を変えて、剣沢から本峰を見ることにしました。雷鳥沢から新室堂乗越へ。お花畑が広がり、隣の雷鳥坂の険しさとは対照的です。別山乗越からようやく剣岳が見えました。おや？この頂きはなんだろう？ 剣御前山から見た八ツ峰、いまごろあそこをみんな登ってるんだなあと思うと感慨深かったです。時間があるので立山でも登っとくか、と別山へ行ってみました。北峰まで足を伸ばしました、ああ長次郎谷が見えるじゃないですか！ 早く足を治して行くからな、待ってるよ！ と決意を新たにしました。剣沢まで下り、テントを張って、飽かず剣岳を眺めて過ごしました。

3日目、チーム八ツ峰と合流しましたが、わたしは一足先に出発です。登りだすと聞き覚えのある曲が！ チャンチャーチャチャチャッチャンチャーチャチャチャッ 腕を前から上にあげてえ背伸びの運動お～ 6:30ラジオ体操第一。今回の旅でこれが一番良かった。

来年は称名滝から歩いてみたいと思っています。



報告者氏名 後藤 裕子 2025年7月29日